

## 『皮膚筋炎・多発筋炎における抗ARS抗体測定の有用性』

多発性筋炎は筋肉の炎症により、疲れやすく、力が入らなくなったり、筋肉が痛くなったりすることを主な症状とする病気です。また、特徴的な皮膚症状がある場合には、皮膚筋炎と呼ばれます。皮膚筋炎・多発性筋炎は当初筋肉(骨格筋)だけが障害される疾患と考えられていましたが、肺、心臓、関節、消化管、などの他の臓器障害も合併することがあり、膠原病や自己免疫疾患(自分の身体に対する抗体;自己抗体などを持ち、免疫の異常がその病因と考えられる疾患)の一つに分類されています。

自己抗体は皮膚筋炎・多発筋炎の50~80%で検出されますが、代表的なものが抗アミノアシルtRNA合成酵素抗体(抗ARS抗体)です。抗ARS抗体は、さらに抗JO-1抗体、抗PL-7抗体、抗OJ抗体などいくつかの種類に分かれており、診断、病型の分類、予後の推定、治療法の決定の上で非常に有用とされています。

そのため、2005年以降に当院で皮膚筋炎・多発筋炎の診断を受けた患者さんについては、以前に施行し保存してある血液を用いて、抗ARS抗体の測定をさせて頂きたいと思っております。

保険収録もされていないため日常の臨床で抗Jo-1抗体以外を測定するのは困難ですが、抗ARS抗体を同定することで、抗体毎に、病型の分類、予後の推定、治療法を決定することが可能になっていくものと期待されます。

本研究においては、再検査が必要な場合のために保存していた血液(血清)試料の一部を使用させていただきますので、患者さんへの新たな危険や負担はありません。また、検査に関わる費用も当院負担であり、負担の増加はありません。また、この検査を受けるかどうかはあなたの自由です。断っても今後の治療に不利益を受けることはありません。その場合も他の診療情報から判断して適切な治療を行います。

本研究は、当院倫理委員会の承認を受けて実施され、研究結果については、将来、学会や論文発表という形で公表することがありますが、個人の御名前は勿論、一切の個人情報には外部には出ませんので御安心下さい。

以上の点を御理解頂き、御了承頂ければ幸いです。御不明の点が御座いましたら主治医まで御質問頂きますようお願い致します。

医師：有田真知子

所属：公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 呼吸器内科

住所：岡山県倉敷市美和一丁目1-1

電話番号：086-422-0210

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明